

令和8年度 遠野市立遠野小学校働き方改革アクションプラン

遠野市立遠野小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

目指す姿

- ◆ 仕事へのやりがいを感じながら互いに協力して、チーム意識をもって取り組む職場
- ◆ 自他の健康保持に心配りができ、かつ特別な事情を抱える職員に配慮ができる職場
- ◆ 職員同士のコミュニケーションを大切にしながら、話しやすい雰囲気を保てる職場

働き方改革の重点取組

取組① 時間外在校等時間および平日・休日持ち帰り残業の削減

- ◆ 超過勤務時間数を職員に定期的に知らせるとともに、自身の働き方改善への意識を高めていく。
- ◆ 学期内の多忙月を見極め、その月以外は退勤を早める呼びかけを行い勤務時間の平準化を図る。
- ◆ 時程の工夫（Gタイムの活用）により、放課後の時間の有効活用（会議、教材研究等）を図る。

取組② チームとしての学校づくりの推進（やりがいを感じる職場・支え合う職場づくりの推進）

- ◆ 提出物や出張等の対外的活動に向けて、進捗状況を常に確認し合いながら計画的に進める。
（職員会議資料や週報等を活用しながら、見通しをもたせて職務に当たるよう努めていく。）
- ◆ 長時間勤務者と管理職との面談やメンタルヘルスセミナーの受講奨励など健康保持に努める。
- ◆ 職員の業務内容や分掌業務について、年度途中でも見直し、改善につなげる機会を確保する。

取組③ 業務改善の実施

- ◆ 職員会議前に分掌の担当者と管理職で拡大運営委員会を行うことで、短時間で集中した協議を行う。
- ◆ 会議におけるルールづくり（進行スケジュールをもつこと）により軽重をつけた話し合いに努める。
- ◆ ICTを授業で積極的に活用することにより、業務の効率化を図る。

| | 現状 | 具体的成果目標 (数値目標) | 関係する 重点取組 |
|-----|---------------------------------------|--------------------------------------|--------------|
| 目標① | 時間外在校等時間が月 80 時間以上の職員が令和7年度実績でのべ7名いる。 | 時間外在校等時間が月 45 時間以上の職員を出さないよう皆で声を掛ける。 | ① |
| 目標② | 学校行事や分掌業務等により、特定の月に業務が集中することがある。 | 時間外在校等時間が 45 時間を超える職員の業務内容について調整を図る。 | ①、② |
| 目標③ | 職員会議等の時間が、勤務時間を超過することがある。 | 会議の時間を1時間以内に設定する。 | ①、③ |

